

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	堺市茶室活性化事業				シート番号	008-046
担当部署名	文化観光	局	博物館	部	学芸	課 評価責任者(課長名) 増田

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	2	誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	1	歴史文化を活かしたまちづくりの推進	無
	2	事業開始年度	平成 30 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	堺市茶室条例			
	4	関連計画	自由都市堺文化芸術推進計画			
5	事業実施の経緯	平成30年10月1日に制定された「堺茶の湯まちづくり条例」にあわせて、条例にかかる具体的施策として、堺市茶室の利用を促進するために実施する				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input checked="" type="checkbox"/> 出先機関 (堺市博物館) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	茶の湯文化をはじめとする堺の歴史文化に関心のある市内外の方々。			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	国の登録有形文化財である堺市茶室「伸庵」「黄梅庵」の利用を促進する。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	堺市内の小学校の児童を対象に、国の登録有形文化財である堺市茶室「伸庵」で、茶室における「茶の湯」の楽しみ方の基本となる最低限の作法やマナーを学びつつ、生菓子をいただき自らお茶を点てる体験を学校単位で行ってもらう。「本物の文化財」での「茶の湯体験」を通じて、本物だけが持ち得る独特の雰囲気や緊張感を五感を働かせて感じてもらう体験事業。 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()			
10	直接実施以外の主な支出先					

Ⅲ. 投入量

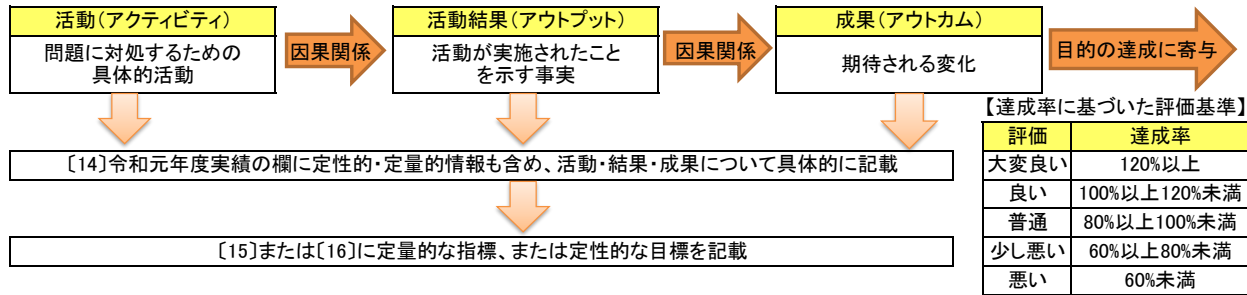
項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
11 事業費 (a)	千円	0	0	2,450	1,239	5,720	5,261	3,000
主な事業費内訳	修繕料	千円		2,450	1,239	2,500	2,248	0
	委託料	千円		0	0	3,220	3,013	3,000
		千円						
		千円						
財源内訳	国・府支出金	千円						
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円						
	市債	千円						
	その他()	千円						
一般財源	千円			2,450	1,239	5,720	5,261	3,000
12 人件費 (b)	千円		0	2,460	2,460	4,560	2,430	2,460
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	0	0	4,910	3,699	10,280	7,691	5,460

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	堺市茶室活性化事業	シート番号	008-046
-------	-----------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

事業の活動実績や成果

令和元年度実績							
活動実績と成果	14	○茶室整備工事					
		○茶の湯プログラム実施					
	15	指標名【成果指標】	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度
		茶室の利用者数	人	目標値		11,000	11,000
				実績値		10,212	16,923
				達成率		93%	154%
				評価		普通	大変良い
	算出方法・設定根拠など		茶室利用者数				
	16	指標名【成果指標】	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度
				目標値			
実績値							
達成率							
評価							

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	茶室の利用者数	人		10,212	16,923
	②	上記①にかかる年間経費	千円		3,699	7,691
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位		362	455
	備考(算出についての説明等)					
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

		目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
19		<p>・茶室の大規模な修繕はある程度目途がついた状態であるが、天候状況により突発的に今後も出現してくるものと考えられる。</p> <p>・茶の湯プログラムは令和元年度に試行したが、概ね好評を得ることができた。</p>

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	堺市茶室活性化事業	シート番号	008-046
-------	-----------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 ⇒ 確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できる <input type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 令和2年度はコロナ禍により、茶の湯プログラムは中止することになったが、事業のスキーム自体に改善が必要な部分もあり、今後、他の事業との統合なども含めて、改善の方法について検討する。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 令和2年度はコロナ禍により、茶の湯プログラムは中止することになったが、小学校からは当該事業を体験したい旨の要望が寄せられている。 休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input checked="" type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 他の事業との統合をはじめ、仕様書の内容の見直しなど、コスト縮減を検討している。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 現在のコロナ禍での事業実施に向けて、3密を避けるなど、より安全に体験できる手法を検討している。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/>) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input checked="" type="checkbox"/> その他(実施方法の見直し)	理由・説明 他の事業との統合など、より効果的かつ効率的な実施方法について検討していく。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
	所見	小学校を対象に本物の茶室を活用した当該プログラムは、茶の湯文化の発祥の地で、「茶の湯条例」を制定した本市にとって重要な施策である。今後、コストを縮小し、「博物館管理事業」と統合・整理し、事業内容は継続する。		